

- 第2回大田市立病院 病院まつり
- 糖尿病認定看護師が誕生しました
- 第3回大田市立病院職員フォトコンテストを開催
- ドクターコラム
- NSTチームの取組み
- 新病院の病床数(ベット数)を229床に
- 外来診療一覧

**大田市立病院** 〒694-0063 大田市大田町吉永 1428 番地 3

大田市立病院の様々な情報をホームページに掲載しています。 [大田市立病院 検索 http://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp](http://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp)

## 第2回 大田市立病院 病院まつりが開催されました

### 地域に愛される病院をめざして

### ～人と人のつながりを大切に～



(院内バンド演奏)

8月30日(日)に、第2回病院まつりを開催しました。当日は、昨年を上回る約1,000人の皆さんにお越しいただき、会場は大変盛り上がりしました。



(院内探検隊)



(リトルナース・リトルドクター)

医療体験コーナーでは「骨密度・血管年齢の測定等」が人気があり、行列ができるほどの盛況ぶりでした。また、子供達には、実際に手術室で模擬手術を体験できる、「院内探検隊」や、未来の医師・看護師になりきってもらえる「リトルナース・リトルドクター」も喜んでいただけました。さらに、お楽しみ企画では、ゲームコーナーや、ソフトクリーム、ホットドッグの無料提供の他、バルーンアートショーや、病院スタッフ有志による、院内バンドのミニコンサートなど、ステージでの催しものも来場者の皆さんに大変好評でした。

このまつりを通して、これまで以上に地域のみなさんとの交流が深まり、医療や、健康について関心をもっていただけではないでしょうか。これからも、テーマのように、地域の皆さんに愛される病院を目指し、スタッフ一丸となって頑張っていきます。

(総務課 松本 久美子)



(野菜計量体験)



(防災ヘリコプター機体展示)



- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

## 糖尿病看護認定看護師が誕生しました

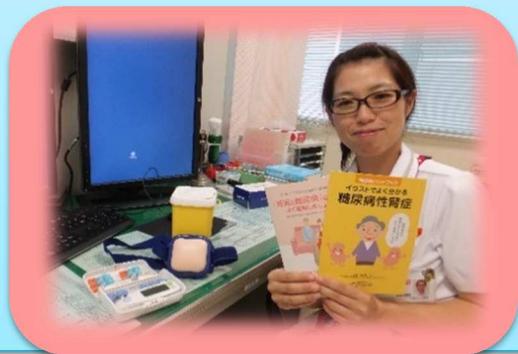
「糖尿病看護認定看護師」として、糖尿病を抱えながら生活する方やその家族の方が、その人らしく生活するにはどうしたらよいか糖尿病の管理方法を一緒に考え、実践できるようにサポートをする仕事を主に行っています。現在は外来で勤務しており、糖尿病専門医の診察前に10分程度、糖尿病患者さんと自宅での生活を一緒に振り返り、次回受診日までに達成可能な小さな目標を一緒に決めています。糖尿病は自己管理が一番大切な治療法です。通院されている方は主治医がいると思いますが、糖尿病の主治医は他にもない「自分自身」です。



糖尿病を良くするのも悪くするのも「自分自身」なんです。どうやったら糖尿病が良くなるのかな？検査の値は良くしたいけど、どうしても甘いものがやめられない。そんな方は、一度ご自身の生活を一緒に振り返ってみませんか。糖尿病とうまく付き合う方法が見つかるかもしれません。

糖尿病についての疑問や困ったことがあればぜひご相談ください。

(看護部 外来 白根 弘美)



## 第3回 大田市立病院職員フォトコンテストを開催！！

〈 最優秀賞 〉 「 小屋原の夏 」



大田市立病院職員  
フォトコンテストを  
開催しました。

第3回のテーマは  
『わたしの住むまち』  
です。

今年は31作品もの  
出品があり、たくさ  
んの力作の中から6作品  
が受賞されました。

# ドクターコラム

後期研修医 能美 雅之



自分は、家庭医療専門医を取得するための後期研修の中で、大田市立病院に昨年の7月から今年の9月までお世話になりました。主に内科で研修を行い、その他、小児科を3ヶ月、また今年に入ってから毎週水曜日に泌尿器科、皮膚科、産婦人科の外来の研修をさせていただきました。先生方をはじめ、病棟看護師さんやリハビリスタッフ等メディカルの方々、クラークさんや事務の方々など、多くの方にご迷惑をおかけしながら、あっといふ間の1年3ヶ月を過ごしました。

大田市立病院での研修を通じて、家庭医の基礎である患者さんとの共通基盤の形成や他職種との連携など多くのことを学ぶことができました。大田での経験を活かして、今後の診療所での研修(10月からは1年間、浜田市の弥栄診療所でお世話になります)を頑張っていきたいと思います。

大田市立病院も昨年から東京の青梅市立病院の研修医の先生方が来てくださるようになり、賑やかになってきました。また、10月からは島大から初期研修医の先生が来られます。来年度からは初期臨床研修病院としても再開するとのことで、ますます病院が活気づくことを少し離れた地からお祈りしています。

(医療局 後期研修医 能美 雅之)

## NSTチームの取組み

NSTとはNutrition Support Team(栄養サポートチーム)の頭文字をとったもので、当院では平成17年4月に発足しました。院長を筆頭に医師2名、看護師10名(内NST専門療法士は3名)、薬剤師1名、臨床検査技師1名、言語聴覚士1名、総務1名、管理栄養士2名の総勢19名による職種で構成されております。当院におけるNSTは個々に応じた適切な栄養療法の選択とそれを実施する事により治療効果を高め、重症化の抑制や合併症の予防、QOL(生活の質)の向上に貢献することを目的として幅広く活動しております。今後はNST活動を外にも広げ地域との連携を強めていきたいと考えております。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

NST 一同



↑カンファレンス風景



↑NST回診風景

# 新病院の病床数(ベット数)を229床に

近年の医療を取り巻く環境の急激な変化を受け、新病院建設の見直しを進めてきました。

新病院建設では、急性期と回復期(回復期リハビリテーション病床、地域包括ケア病床)を中心とした医療の提供に取り組みます。療養病床は設置しませんが、他の医療機関で受け入れが困難な患者さんについて、可能な限り受け入れます。

病床数(ベット数)は、新病院の診療機能、入院患者動向、将来の人口推計や受療動向予測、医療提供体制の変化等を考慮し、現計画より55床縮小し、229床《急性期病床:139床、回復期リハビリテーション病床・地域包括ケア病床:90床》とします。

病床数は見直しますが、今後の入院患者の受け入れに支障を生じさせず、かつ、持続的な運営が可能な規模と考えています。

また、見直しに伴い、当初予定していた平成29年度中の新病院の開院は、延期となりますが、出来るだけ早い開院に向け努力してまいります。 ※(用語説明)

- ・急性期病床:病気が発症して間もない、病状の不安定な期間までを提供する病床
- ・回復期リハビリテーション病床:急性期治療後、積極的なリハビリを提供する病床
- ・地域包括ケア病床:急性期治療後、在宅復帰支援のための医療等を提供する病床
- ・療養病床:長期にわたり療養が必要な患者さんに医療を提供する病床

## 外来診療一覧

(●初めての受診が可能 ○予約の方のみ)

平成27年10月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
一般外来	内科	●	●	●	●	●
	神経内科	●		●		
	消化器科	●	●		●	
	循環器科		●			○
	メンタルヘルス科				○	
	小児科	●	●	●	●	●
	外科	●		●		●
	呼吸器外科					●
	心臓血管外科			●		
	整形外科	●※1		●※1		●※1
	脳神経外科			●	●	●
	皮膚科	●※2	●	●		●
	泌尿器科	●	●	●	●	●
	産婦人科	●	●	●	●	●
	放射線科		●		●	
	ペインクリニック	●		●	●	●
眼科	●				●	
耳鼻咽喉科	●※4	●※3				
総合診療科		●				
専門外来	リウマチ外来				○	
	腎臓内科	●※6				
	ペースメーカー外来					○
	小児神経外科				○	
	小児心臓外来		○			
	乳児健診		○			
	予防接種					○
	腫瘍外来			○		
	緩和ケア				●※8	
	女性泌尿器科外来				●※7	
乳がん検診				○		

【受付時間】 8:30~11:00 (予約の方はこれ以外の時間になることがあります)

- ※1 予約券をお持ちの方は8:30~15:30 初診の受付を制限する場合があります
- ※2 13:15~15:00 (森田先生の診療は第3週となります)
- ※3 初めて受診される方は8:30~10:30
- ※4 診療は第1・3週のみとなります
- ※5 初めて受診される方は13:45~15:30、予約券をお持ちの方は13:45~16:00
- ※6 13:00~16:00
- ※7 第1・3・5週 8:30~12:00 予約外の受付は11:00まで
- ※8 第3木曜日



## 編集後記

今年は、猛暑で皆さん大変な夏をすごされたことと思います。

秋は過ごしやすい季節です。食欲の秋、読書の秋、様々な秋があります。どのような“秋”になるのでしょうか。

さて、2015年秋号では病院まつり、フォトコンテストなど病院と地域のみなさんとのつながりのある内容となりました。大田市立病院を身近な存在に感じて頂けるとうれしいです。

(臨床検査科 M・I)

発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永 1428-3

TEL 0854-82-0330

FAX 0854-84-7749